

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

地域で活発な活動団体を紹介します!



清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部環境生活政策課
地域コミュニティ室
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市藪田南2-1-1 (県庁6階)
電話 058-272-8199

第3号

平成27年1月発行

5 各務原市社会福祉協議会八木山連合支部

やぎやま

活動拠点：ささえあいの家
(〒509-0131 各務原市つつじが丘4-6)
支部長：立元 修 運営委員長：松井 義孝

地区の概要

40年前造成された住宅団地で、各務原市有数の高齢化が進んだ地域(高齢化率32.7%)で、65歳以上のみの世帯も多い。人口も少しずつ減っている。坂が多く、車を使えなくなったら通院・買い物などが不便となり、みんなで支え合って生活していくことが必要との考えから、平成24年から2年がかりで事務局、理事、評議員の会議、先進事例実践者の話、医療介護の立場からの話、「障がい児者と共に生きること」などの福祉講演会、福祉座談会などを開催してきた。多くの時間と議論を重ねて、平成26年1月、地域福祉活動の拠点「ささえあいの家」を開所した。

「ささえあいの家」の主な特色

●多数の元気なシニアとボランティアの活躍の場づくり

庭の草取り・地球の取り替え・話し相手などの生活支援ボランティアの募集をしたところ、当初75人延べ282人からボランティア登録があった。運営スタッフの方のお話によると、『この地域は、特技や技術、知恵を持った元気なシニアが多い。「こうしてほしいな」という人と「ボランティアします」という人をつなぎ、住み慣れた地域で安心して暮らせる実感がもてること、人の役に立つ喜びや仲間が広がっていく楽しさを感じられることなど、日々の生活に充実感がもてる地域づくりを進めている。』とのこと。

●みんなの力で開所し、運営されている「ささえあいの家」

地域の民家を家主の好意により貸してもらって使用している。数人のスタッフで、ひさしやウッドデッキを手作りして設置。また、スタッフや地域の人たちが、家具・食器など必要と思われる物を持ち込んで、オープンの日を迎えた。その後、「営繕の会」というチームができ、外壁のペンキ塗り、玄関、ベランダ、車庫など家周りの整備などを行っている。地域の人々の絵画・写真などで部屋の壁面は市民ギャラリーとなっている。特技のある人々がボランティアで講師となって、生活に役立つ様々な講座を実施している。このまちのそれぞれの人々の思いと力を結集して「ささえあいの家」は運営されている。

また、活動の様子や様々な情報は、年3回の「まちの福祉だより ささえあい」や毎月の「ささえあいの家通信」で発信している。

●まちの課題解決のための、ささえあい活動の拠点となるための機能

- ◆相談・見守り機能:市社協の生活相談センター「さぽーと」による生活なんでも相談、地域包括支援センターによる相談
- ◆誰もが気軽に集えるコミュニティカフェ機能:当番常駐体制、サロン、生活に役立つ様々な講座を開催
- ◆ボランティア情報の拠点機能:ボランティアをお願いしたい人と、登録されているボランティアをつなぐ



ささえあいの家



講座の様子

ポイント 地域の人々のボランティア精神や、助け合いの気持ちを結集し「ささえあいの家」を開所、運営

技術や技能、知恵を持った元気な中高年者が、ボランティア活動をしている。彼らは、人を支えているようで、実は支えられていることを自覚し、生きがいを感じて、楽しく交流している。70余名の「ささえあいの家」のボランティアは、ここが「自己実現の場であること、自己の存在感が得られる場所であること」を感じながら、その輪を広げようとしている。

今後の展望

人々が「ささえあいの家」に集まるのみならず、集まらなくてもここがあるからみんなが繋がれる拠点となる仕組みを考えていきたい。また、多世代が交流できる企画を考えたり、介護予防などの生活支援事業の機能を持てるような体制を検討していきたい。